

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市人と動物との共生社会推進懇話会		
事務局 (担当課)		動物愛護センター準備室 電話 042-769-8347 (直通)		
開催日時		令和8年7月9日(木) 午後2時～3時		
開催場所		ウェルネスさがみはら7階 視聴覚室		
出席者	委員	6人(別紙のとおり)		
	その他	0人(別紙のとおり)		
	事務局	5人(保健衛生部長、動物愛護センター準備室長、他4人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 あいさつ 2 議 事 人とペットの災害対策について 3 報 告 (1) (仮称)相模原市動物愛護センター基本計画の策定について (2) 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の発生について (3) その他		

審 議 経 過

会議の主な内容は次のとおり。

1 あいさつ

保健衛生部長があいさつした後、事務局から本会の所掌事項の説明を行った。

2 議事

(司会進行：高木会長)

・人とペットの災害対策について

事務局から、資料に基づき説明を行った。

(山田委員) 他市の事例だが、避難所のペット区画が示されていても、その場所が雨風をしのげると思えない場所であれば、避難所を利用する気持ちにならないという意見を聞いたことがある。ペット区画の設定については考慮いただきたい。また、動物の一時救護場所として、獣医師会病院等の他にも、霊園などの駐車場が広い場所、動物関連団体など、多くの場所を確保しておくとうい。

(高木会長) 避難所へ一緒に避難する人がどれだけいるのか気になった。どれだけ設備を整えても車などを利用する方は一定数いると思われるが、山田委員の事例ではどのような区画だったのか。

(山田委員) 区画は屋外の雲梯にブルーシートを設置するだけのものだった。また、スターターキットを設置しても誰もがテキパキ動けるものではない。訓練が重要である。

(山本委員) 先日、市内でレベル3の高齢者避難勧告が発令され、避難場所に行ったが、誰もいなかったので困惑したという方がいた。入口に避難場所と明示するなどするとよい。

ペット同行避難場所について、風雨が強い中でペットを連れて避難をしても、屋外に置かれるとなると、躊躇せずに避難する方がどれだけいるだろうか。以前、小学校で暑い日にペット同行避難訓練を実施したところ、渡り廊下を使用したか、暑さをしのげない状況であった。また、鎖でつないでおく犬が多く、広いスペースが必要であると感じた。暑さ、寒さ、雨等を想定した時に屋外が避難場所では本当にペット同行避難ができるか疑問である。躊躇して避難所に行かない人が増えてしまわないよう、別室でよいので、屋内でペットが避難できる場所を確保してほしい。

先日の消防署で行われた避難訓練では、ペット同行避難訓練参加者は一人であった。市民にまだペット同行避難が知れ渡っていないことと、

訓練に参加することに躊躇があるという、2点が現状としてあると思われる。しかしながら、ペット同行避難訓練が実施されたことは周知への第一歩として今後に繋がる取組であり、ペットを飼っていない方に対しても、「ペットも避難してくるんだ」ということを知ってもらえる大事な機会になった。

(高木会長) 様々な各論があると思うが、総論として考えると、災害時に人がどう動くか想定する必要があるのではないかな。また、訓練を実施してエラーを分析・修正していくことが大事である。

(土屋委員) 避難する場所では、屋根は最低限必要である。エサやテントは自分で用意できるが、テントを張る場所が分からない。相模原市にはホームセンターが多く、その立体駐車場は、屋根もあり面積も広いので、災害時に使用できるよう協力を得られるよう事前に調整できないか。

(高木会長) 避難場所は現在、小中学校が設定されているが、復興に向けた流れを想定すると、大学は適正が高いと考える。麻布大学がテストケースになればよいが、それをどう広報するかが大事である。情報の共有が課題である。

3 報告

(1) (仮称) 相模原市動物愛護センター基本計画の策定について
事務局から、資料に基づき説明を行った。

(山田委員) 施設は平屋か2階建てか。

(事務局) 2階建ての方向で進めている。

(高木会長) 大学側が設計、工事を担うが、様々な事情により変更になる可能性はある。

(山田委員) 建築に当たって寄附を募る予定はあるか。2階建てが望ましいと考えるが、財源確保が必要になるのではないかな。

(事務局) 具体的な手法は検討段階で、何らかの財源確保に取り組みたい。

(高木会長) 大学で具体的な話はないが、大学主体ではなく、市と共同でできればよいと考える。

(土屋委員) 2階建ての場合、エレベーターは整備されるか。

(高木会長) 建築の基準等で必要になると考える。また、動物の搬送においても必須である。

(土屋委員) 災害備蓄について、地下を設ければ、周囲の温度変化がなく保存によいと考える。

(高木会長) 麻布大学は災害時、電源装置を備えており、水は井水であるため、災害に強いと考える。地下については検討する。

(石丸委員) 市は Amazon と災害備蓄の協定を結んでいる。ペットの備蓄で ALFALINK を使用できるとよい。

(高木会長) 災害時の連絡体制も考えておくの良いかもしれない。

(土屋委員) 災害時に必要なものを、連絡を取って配送してもらうにあたっても、電源がなくて電話が使えないため運べないということも考えられる。電話が使えないことを前提とした準備をしておいた方がよい。

(2) 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の発生について

事務局から、資料に基づき説明を行った。

(山本委員) 人の感染症と同様に、動物病院で SFTS 陽性の猫が発生した場合に届出が必要と考える。

(高木会長) 難しいと思われるが、椿先生から知見があればお願いしたい。

(椿副会長) 獣医師会の病院で SFTS 陽性の猫が発生した場合は、県へ報告することになっている。相模原市の獣医師会病院で犬 1 頭猫 2 頭の陽性例が判明しており、共有している。また、相模原市も県経由で共有している。

(山本委員) 聞いた話であるが、具合が悪い外猫を病院に連れて行く際に噛みつかれ、翌日夜から発熱し、大きい病院を受診するも死亡したケースがあった。SFTS かは不明だが、このように、SFTS の疑いがある場合、動物病院を受診した時点で何かアドバイスができなかったかと考える。

(高木会長) SFTS と分かって来院されるケースはないため難しい。検査結果を待つ間に死亡してしまうケースが多いと考える。

(椿副会長) 獣医師会では昨年から市内でモニタリング調査をしているが、SFTS 陽性の猫は認められない。猫が抗体を持っている可能性は低く、野外で亡くなっているというのが現状の見解である。4 月に陽性が判明した猫 2 例も、動物病院を受診し、検査した翌日に死亡しており、来院時点で SFTS を想定することは難しい。獣医師会でも、SFTS 疑いの猫を動物病院で預かるべきか意見が分かれている。

4 その他

特になし。

以 上

相模原市人と動物との共生社会推進懇話会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	高木 哲	麻布大学	教授	出席
2	椿 直哉	一般社団法人 相模原市獣医師会	会長	出席
3	山田 佐代子	公益財団法人 神奈川県動物愛護協会	会長	出席
4	大矢 秀臣	全日本動物輸入業者協議会	会長	欠席
5	田村 久司	相模原市自治会連合会	理事	欠席
6	櫻井 正孝	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会	福祉推進課 地域支援係長	欠席
7	石丸 雅代	たんぽぽの里	代表	出席
8	山本 和子	相模原市動物愛護推進員		出席
9	土屋 百合子	公募市民		出席